sangetsu
Joy of Design

日装連新聞

1月号 2019/平成31年 No.500

発行所
日本室内装飾事業協同組合連合会
Japan Interior Decoration Association (JIDA)
〒105-0003
東京都港区西新橋3-6-2 西新橋企画ビル8F
Tel(03)3431-2775　Fax(03)3431-4667
月刊●毎月15日発行●講読料　年間2,400円　1部200円

迎春　2019

年頭の御挨拶

日本室内装飾事業協同組合連合会
理事長　小坂田　達朗

2019年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

私も、理事長に就任してはじめての新年を迎えさせていただきました。改めて組合員の皆様のご協力に

組合員のための組合づくり
「猪突猛進」の覚悟で実行

対し、心から感謝いたします。

さて、国内の昨年の出来事を顧みますと、平昌オリンピックでの日本人の活躍にはじまり、ゴーンショックで終わった1年でした。しかし、西日本での豪雨災害や、近畿地方を襲った地震や台風、そして北海道地震など、数多くの自然災害に見舞われたことが大きな出来事として国民の心に残りました。改めて災害への備えを国や自治体、そして国民一人ひとりが考えて実行に移さなければならない、そんな地球環境になって来たことを印象付けました。

世界経済はトランプ大統領に振り回された感のある1年でした。そこへ米中の貿易摩擦も加わり、日本経済への影響も心配され、ますます混迷の時代となって来ております。

我が国経済は安倍政権の続投が決まり、東京オリンピック・パラリンピック、そして先の話ですが、大阪万博開催決定が大きなインパクトとなり建設投資もかなりのものとなります。そして日本三カ所で設置を目指す総合型リゾート（IR）も今後大いに期待でき、それらを追い風に、景気も安定的に回復基調と見られています。

しかしながら、我々内装業界を取り巻く環境はまだまだ厳しいと言わざるを得ません。

さて、昨年は日装連が中心となり3年にわたって活動してまいりました「化粧フィルム工事作業」の技能検定がついに全国で実施され、日装連傘下の組合員を含め、全国で300名強の方々が取得を目指して検定に臨まれました。初年度ということで課題はまだまだあると思いますが、今後もより良い検定となるよう、日装連も努力してまいります。

また、国土交通省の住宅リフォーム事業者団体登録を目指し、「一般社団法人日装連リフォーム推進協議会」（略称日リ協）を立ち上げ、昨年11月20日に設立総会を開催し、本格的にスタートいたしました。これから会員の皆様が内装のみならず、リフォームに関してのプロとなり、脱下請けのきっかけとしていただき、元請けへと進化されるお手伝いをさせていただきます。各組合様におかれましては今後も、会員増強にお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。

まだまだ厳しい状況にある内装業界のため、これから日装連としてやるべき課題は数多くあります。これは昨年、日装連全組合員にご協力をお願いし実施しました「実態調査」にも表れていると思っております。

喫緊の課題として技能者不足・育成、後継者問題、一人親方の労災保険加入の推進、社会保険未加入、法定福利費等々、これらはここ数年で改善がみられ前進しているものもありますが、手を緩めるわけには行かない課題であります。これらにつきましては日装連各委員会で課題の検討を進め、各組合で十分に討議をしていただけるような仕組み作りが必要だと思っています。また、それと同時に、全国の青年部や次世代部会での活発な活動が課題解決には不可欠であると思います。実際に各地でこれからの組合、そして未来の日装連を作るための動きが出てきているようにも感じます。このような活動には支援を惜しまずにできる環境を作って行きたいと思っております。

また日装連で進めております課題、また新たに検討をしなければならない課題として、日装連インテリアデコレーター（ID）の社内検定認定制度挑戦、登録内装仕上工事基幹技能者の増員、新たな外国人受入れ制度の問題などがあります。これらも着実に前進させなければなりません。

私が理事長に就任してまだ半年が過ぎたところでございますが、やらなければならない課題、粛々とこなさなくてはならない課題が次々と押し寄せてまいります。就任時にも申しましたが、組合員の皆様におかれましても一人ひとりが「組合員のための組合づくり」を自覚していただき、ともに業界の発展と地位向上という目標のため、努力を続けてまいりたいと思います。

今年は実行の年、転換の年となるよう、私も「猪突猛進」の覚悟で臨みたいと思っております。

結びに、本年も組合員皆様にとってより良き一年になりますようご祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

主なニュース

2・3面　3官庁・3団体　年頭所感
4面　外国人労働者受け入れの概要
7面　500号記念「クロスワードパズル」
8面　最前線探訪 30　三多摩室内装飾事業協同組合

株式会社川島織物セルコン
http://www.kawashimaselkon.co.jp
広告のお問い合わせは販売促進グループまで
03-5144-3892 9:00AM～5:00PM（土、日、祝日、特別休日を除く）

PART OF LIXIL
インテリア業界初の「エコ・ファースト企業」に認定されました。

ショールーム showroom
東京ショールーム　〒135-0061　東京都江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント6F　TEL:03-5144-3980
大阪ショールーム　〒530-0011　大阪府大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA12F　TEL:06-6733-1310
札　幌ショールーム　TEL.011-330-1777
さいたまショールーム　TEL.048-658-2312
名古屋ショールーム　TEL.052-300-8473
京　都ショールーム　TEL.075-330-0087
福　岡ショールーム　TEL.092-452-8118

2019年 年頭の御挨拶

建設産業の「働き方改革」を実行

国土交通省
土地・建設産業局建設市場整備課長
小笠原　憲一　氏

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日本室内装飾事業協同組合連合会及び会員・関係者の皆様には、平素より国土交通行政の推進について、格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設産業は住宅や社会資本の整備・維持管理を通じ、我が国の基幹産業として経済・社会の発展を支えており、建築物の機能性と居住性を高める内装仕上工事は、建築物の性能やデザインに関し人々のニーズが高度化し多様化する現在において、その重要性は更に高まっております。

一方で、我が国は人口減少時代を迎え、将来における担い手の確保や技能の伝承が大きな課題となっています。このため、建設産業における「働き方改革」に早急に取り組まなければなりません。

国土交通省としましては、公共・民間全ての建設工事において、下請契約も含め、建設工事に従事する方が長時間労働を行うことのないよう、週休2日の確保等を考慮した適正な工期設定の取組を行ってまいります。

併せて、技能者の処遇改善を進めるため、適切な賃金水準の確保、社会保険への加入促進に引き続き取り組むとともに、技能者一人ひとりの就業履歴や保有資格を業界統一のルールで蓄積する「建設キャリアアップシステム」の構築に取り組んでおります。国土交通省としましては、業界の皆様と力を合わせ、普及・利用促進に向けて、本システムが、技能者の能力評価や専門工事会社の施工能力の見える化につながるよう取り組んでまいります。

建設産業が今後も国民生活の向上や経済の持続的な成長に必要な役割を果たせるよう、技能者の教育・訓練等による人材育成等を通じた中小建設企業の生産性向上に向けた取組も進めて参ります。

また、建設産業に従事する方々が将来を見通すことができ、使命と誇りを持って仕事に打ち込める環境を整えるべく引き続き注力して参ります。

貴連合会におかれましては、登録内装仕上工事基幹技能者講習会の開催や社会保険未加入対策等を通じ、技能労働者の確保・育成に取り組んでこられました。これらの活動を更に推進して頂き、内装仕上工事業・建設産業のより一層の発展に寄与されますことを、期待申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

消費者ニーズに即した住空間提供へ

経済産業省
製造産業局生活製品課長
杉浦　宏美　氏

2019年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年7月に生活製品課長を拝命し、5カ月が経ちました。この間、生活製品課は、取組方針において掲げた「生活の質の向上」、「消費者本位でのものづくり」、「適正な価格」及び「Connected Industries（ソリューション志向）」の4つの視点に立ち、取組を進めてきました。また、昨年は災害が多く、数次にわたり生活物資を被災地にお届けしました。

今後も取組方針の下、必要な取組を進めていきます。まず、繊維業界にとって最重要課題である取引適正化について、昨年秋に実施したフォローアップ調査によると、取引改善が大きく進んでいるとは言えない状況であり、継続的に取り組んでいく必要があると認識しています。

2点目は、外国人技能実習です。経済産業省では繊維産業技能実習事業協議会を設置し技能実習受入企業のみならず発注企業も含めた産業全体で技能実習の適正化を進めてまいります。

3点目は、サステナビリティです。環境や労働者の人権への配慮といったサステナビリティの実現が強く求められる国際的潮流を踏まえ、事業者は法令遵守、適正な取引条件や労働環境などの確保を意識しつつビジネスを展開されることを期待します。

4点目は、インバウンドを含めた海外市場の開拓です。通商交渉・二国間協力等の環境整備に引き続き取り組むとともに、事業者の皆様に情報提供や活用可能なツールの紹介を行うなど海外市場開拓を支援します。

5点目は、IoTなど新しい技術を活用した商品・サービスの高付加価値化です。スマートテキスタイルについては、昨年秋より、スマートテキスタイル関連事業者の方々をメンバーとしたスマートテキスタイル推進会議を開催し、スマートテキスタイルの普及・実用化に向けた課題の抽出・対応等について検討を進めています。ファッションテックについては、衣類の廃棄問題の解決策の一つとしても注目されるマスカスタマイゼーションに関する調査を実施しているところであり、本年度中に結果をとりまとめる予定です。

今後さらなるビジネスチャンスの拡大のためには、室内装飾における高度な施工技術を活かしつつ、室内装飾産業が繊維など関連産業と連携し、消費者のニーズに即した新たな住空間の在り方を提供していくことが重要です。当課としては、引き続き創意工夫をもって前向きかつ意欲的に取り組む事業者の皆様方を応援してまいります。皆様の一層の御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年は大きな災害のない佳き年となるよう心から祈念いたしまして、平成から新たな年号に移行する特別な年の初めの挨拶とさせていただきます。

「建設キャリアアップシステム」の普及拡大を実行

一般財団法人　建設業振興基金
理事長　佐々木　基　氏

明けましておめでとうございます。

平成31年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は日本全国で地震、台風、豪雨等の災害が頻発しました。被災されたすべての皆様に対し、旧年中の御苦労を心からお見舞い申し上げ、新年の御多祥をお祈り申し上げます。

さて、こうした災害の復旧・復興や社会資本の整備・維持管理など地域の安全安心を守る建設業の果たすべき役割がますます増大する中、国土交通省では、昨年度3つの分野における新たな施策をパッケージとしてまとめた「建設業働き方改革加速化プログラム」を公表し「長時間労働の是正」、「給与・社会保険」、「生産性向上」の分野での取り組みを進めていくとの方針を明らかにしました。

働き方改革関連法による改正労働基準法に基づき、建設業界における時間外労働の上限規制の適用等については5年の猶予期間が与えられているものの、これらの方針は、今、抜本的な制度改革をしなければ建設業界の未来はないと、国土交通省の取組姿勢を明らかにしたものです。

このような状況のもと、建設業振興基金では、「建設キャリアアップシステム」の運営主体として、平成31年度から現場での「本運用」を開始します。このシステムは、技能者一人ひとりの技能や経験を蓄積、活用することによって技能や経験に応じた技能者の処遇改善、現場管理の効率化、キャリアパスの見える化による将来にわたる担い手の確保につなげていくことを狙いとしています。

建設キャリアアップシステムは「建設業界全体の共通インフラ」であり、その役割を果たしていくためには、全ての技能者と事業者に登録していただくとともに、全ての現場において技能者の就業履歴の蓄積が可能となる環境を整えることが求められます。さらなるシステムの普及拡大に向け、国土交通省、業界団体と一体となって今後とも引き続き登録を呼びかけて参ります。

さらに、建設産業担い手確保・育成コンソーシアム事業や建設労働者緊急育成支援事業については、本財団の重要課題として取り組んで参りましたが、各々最終年度を迎えることとなります。これら事業を通じて築かれつつある各地の担い手育成基盤を継続させるため、各地域連携ネットワークの皆さんと相談しながら今後の事業展開を検討して参ります。

建設産業は、国民の暮らしや生活を支えるため、なくてはならない存在です。本財団は、これからも建設産業と行政をつなぐ架け橋となり、業界の皆さまの声に耳を傾け、共に考えよりよい解決策を見いだす組織として活動して参ります。また、時代によって変わるニーズに柔軟に対応し建設産業の魅力の向上と持続的な発展に向けて、お役立ち度の向上を図っていく所存でございますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

防炎品の普及促進に一層取り組む

公益財団法人　日本防炎協会
理事長　丸山　浩司　氏

輝かしい平成31年の初春にあたり新年のお慶びを申し上げます。

日装連の会員の皆様におかれましては、平素から当協会の事業に対して格別のご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内各所では初夏から記録的な猛暑が続くなか、6月に大阪府北部地震が発生し、9月には最大震度7を記録した北海道胆振東部地震が発生いたしました。また、毎週のように来襲する巨大台風やその台風により刺激された梅雨前線により、記録的な豪雨が北九州地方や瀬戸内地方をはじめ各地を襲い甚大な被害をもたらすなど、あらためて自然災害の脅威を感じた年でもありました。

全国の火災の状況を見ると、ここ数年の発生件数は、前年度を下回る傾向にありますが、火災による死者の発生状況では、高齢者の方々や体のご不自由な方々で犠牲になる方が、依然として高い傾向にあります。春秋に実施される全国火災予防運動におきましても防炎品の普及促進が重点目標のひとつに挙げられており、さらなる火災被害軽減を図るために防炎品の認知度を上げるとともに広く普及することが求められております。

このような中、当協会としましては、適正な防炎性能試験、防炎ラベルの交付、防炎品の品質管理並びに普及促進に全力で取り組んでいく所存であり、これは、皆様のご協力なくしては、なし得ないことと考えております。今後も火災から生命と財産を守るため国民から一層信頼される防炎品となるよう努力してまいる所存ですので、引き続きのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が、災害の少ない平穏な年となりますように、また日装連の益々のご発展と会員の皆様のご多幸ご健勝を心からお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

人材開発行政のさらなる推進に取り組む

厚生労働省
人材開発統括官付参事官（能力評価担当）

毛利　正　氏

平成31年の年頭に当たり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

内装仕上げ施工職種に係る技能検定試験につきましては、これまでに5万人を超える技能士の方々が誕生し、各地でご活躍されており、これも関係者の皆様から格別のご支援、ご尽力の賜物であり、深く敬意を表するものであります。

現在我が国は、急速に進む少子高齢化に加え、経済のグローバル化による国際競争の激化、ロボット、IoT、人工知能などの技術革新等ものづくり分野をはじめとする技能・技術分野を取り巻く環境は大きな変化に直面しております。

こうした中、今後とも我が国産業が持続的な発展を遂げていくためには、その基礎となる技能を社会全体が尊重する機運を醸成するとともに、次世代に継承することが不可欠です。このため、厚生労働省では技能検定試験において、関係者の方々のご協力の下、昨年から内装仕上げ施工職種に新たに「化粧フィルム工事作業」を設け実施しております。また、35才未満の方々を対象として実施している、ものづくり分野の技能検定の2級又は3級の実技試験の受検料の減免を引き続き行ってまいります。さらに、ものづくり分野111職種を対象に「ものづくりマイスター」制度により、認定されたものづくりマイスターを中小企業、工業高校等へ派遣し、若者等に対する実技指導を行っており、内装仕上げ施工職種においては約200人のものづくりマイスターに全国でご活躍いただいております。

加えて、昨年10月には2023年技能五輪国際大会の愛知県への招致に立候補いたしました。国際大会の開催は、国内の人材投資の促進や技能への関心を高めることにもつながるものと考えており、本年8月の招致決定に向け全力で取り組んでまいりますのでご支援をお願いいたします。

これらにより、女性も含め若い人材の育成が進み、業界のさらなる発展につながることを期待しています。

本年も技能の現場を支える関係者の皆様方の声をお聴きしながら、人材開発行政の更なる推進に取り組んで参りたいと考えています。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げるとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

働き方改革に取り組む専門工事業

一般社団法人 建設産業専門団体連合会
会長

才賀　清二郎　氏

平成31年新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中は一般社団法人建設産業専門団体連合会の活動に対しご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

東日本大震災の復興事業や東京オリンピック・パラリンピックの開催、度重なる自然災害への対応、老朽化し更新時期を迎える社会基盤整備への対応など国民生活の安全・安心を守るために建設産業が担うべき社会的な役割はますます増大しています。この課題に対応するために、劇的な進展を遂げるAI、IoTなどのイノベーション、確実に到来する労働力人口の減少といった事態を正面から受け止め、今後も建設業が「生産性」を高めながら「現場力」を維持できるよう、改めて、「長時間労働の是正」「給与、社会保険」「生産性の向上」について法制度をはじめ、建設業関連制度の基本的な枠組み等の検討が始まっています。

当連合会においても、昨年総会決議した、「安値受注を繰り返し、指値をしてくる企業とは契約を行わない」等を基本とし、「技能労働者の直用化、月給制」「技能労働者の処遇改善、健全な企業体質」「キャリアアップシステムの加入促進、併せて専門工事企業が適正に評価される体制整備」「働き方改革における週休二日制の積極的な取組、技能・技術の伝承が出来る企業体制の確立」の実現に向けて、一歩一歩進めて行きたいと思っています。

専門工事業の長年の懸案であった雇用環境改善、適正な競争環境、健全な建設産業に向けた取組が国、業界を挙げて働き方改革という具体的な取組として動き出しました。建設業が生活に密着した身近な産業で有ること、女性も活躍でき、若年者にも魅力ある産業であること等を理解していただき、発注者の理解を得つつ、総合工事業者と協同し、引き続き会員の皆様と一致団結して諸課題に取り組んでまいります。

インテリア解体新書　154

インテリア文化研究所　**本田榮二**

インテリア業界に足を踏み入れて50年が経過した。14年前にインテリア文化研究所（ＩＣＩ）を設立すると同時に「トータルインテリアを語れる唯一の存在」のキャッチフレーズを掲げた。ホラ吹き男爵のように聞こえるが、根拠は東リ時代に接着剤、塩ビ床材、カーペット、壁紙の商品企画を担当し、さらに出向先のキロニーでカーテンを担当したことである。眉唾と思われる方は、是非、私の著書9冊とホームページに掲載している146点の論文一覧をご覧頂きたい。

経歴を仰々しく紹介したのは、私が何者か分からずに喫緊の課題を提言しても信用してもらえないからだ。それを踏まえてインテリア業界の喫緊の課題2点を述べたい。

1点目はデフレ思考からの脱却。2点目は高頻度での情報発信の必要性である。インテリアビジネスニュース（ＩＢＮ）の12月25日号に「2018年ニュース関心度ベスト20位」が掲載された。これは毎朝発信しているＩＢＮニュースメール掲載記事のアクセス数ランキングで順位をつけたものだ。ＩＣＩの「モリスとミュシャの邂逅ブースデザイナーに三宅利佳氏」のニュースも13位にランクインしたが、私が注目したのは2位の「サンゲツ、壁紙・床材・カーテンの取引価格を10月1日受注分より改定」と6位の「東リ、塩ビ床材及びタイルカーペットなどの取引価格を改定」のニュースである。

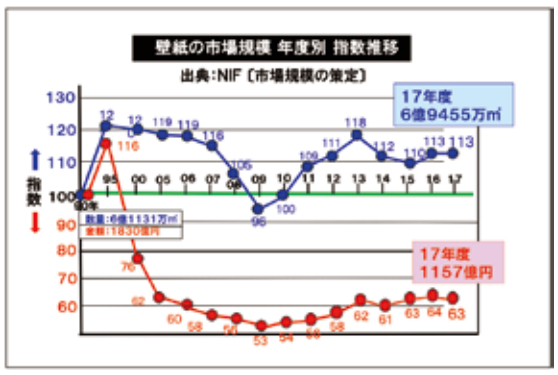
関心が高いのは結構なことだが、両社の値上は可塑剤などの原材料費や人材確保に伴う配送費の高騰に伴う止むを得ない値上だけに、正々堂々と取引先に値上げを要請すべきである。何故なら壁紙を筆頭にデフレ化が進行し、内装工事店の経営を圧迫しているからだ。日本インテリアファブリックス協会の資料『市場規模の策定』から作成した壁紙の出荷数量と出荷金額の年度別指数推移グラフを添付するが、出荷数量が伸びているにも関わらず、売上金額は確実に減っている。即ち「忙しいけど儲からない」という典型的なデフレパターンに陥っている。

一事が万事で、壁紙以外の塩ビ床材やカーペットも似たり寄ったりの状況だ。「安く売るのもサービス」と考えているなら言語道断で、このような発想をする限り、インテリア業界に明るい未来はない。同時にメーカーも他社の物真似ではなく、ユーザーが魅力を感じる付加価値商品を開発すべきである。差別化商品が開発されない限りインテリア業界が価格競争から脱却するのは難しい。

次に2点目の高頻度の情報発信の必要性であるが、この問題については、私もＩＣＩ設立直後に各地のセミナーで説明してきたが、ＳＮＳの普及で時機到来だけに再度訴えたい。ゼネコン下請けの工事店は、往々にして指示された事柄を忠実に実行すれば良いというネガティブ発想に陥りがちであるが、この閉塞状態を打開するには顧客リストを早急に整備し、保有する専門知識を高頻度で発信しなければならない。

一人で商売をしているＩＣＯＭ女史は、毎日欠かさず朝七時にブログを発信している。10年近くブログを発信し続けているが、その甲斐あって、工事金額の大小を併せると年間40件のリフォーム工事を受注している。なにも早起きしてブログを作成し、朝7時に発信する必要はない。ブログは前日に作成し、タイマーをセットすればＯＫだ。ブログのネタはＢＭや問屋のホームページに沢山載っている。それらを利用すれば立派なブログになる。要はそれを実行するかどうかの決意次第だ。聖書の言葉ではないが「求めよ、さらば与えられん！」である。それを確認して猪突猛進しようではないか。

ＩＣＩセミナー「リフォーム獲得 10カ条」



国内壁紙の出荷数量と出荷金額の年度別指数推移

インテリア業界の喫緊の課題は2点

日装連行事

1月
29日　登録基幹技能者テキスト編纂委員会

2月
1日　常任理事会
13日　総務委員会
15日　登録基幹技能者試験・講習合同委員会
30日　日装連ＩＤ・教育資格委員会ＷＧ会

3月
8日　常任理事会

4月
17～19日【香川】登録内装仕上工事基幹技能者講習
25日　常任理事会

5月
10日　常任理事会・第208回理事会

6月
7日　第53回通常総会

7月
3～5日【北海道】登録内装仕上工事基幹技能者講習
31～8月2日【東京】登録内装仕上工事基幹技能者講習

9月
4～6日【大阪】登録内装仕上工事基幹技能者講習
26～28日【沖縄】登録内装仕上工事基幹技能者講習

10月
23～25日【広島】登録内装仕上工事基幹技能者講習

11月
26～28日【宮城】登録内装仕上工事基幹技能者講習

業界情報アラカルト

人気のディズニーブランドに新たに「PRINCESS」が登場

スミノエ

スミノエは、新シリーズ「PRINCESS」（プリンセス）を追加したディズニーブランド「Disney HOME SERIES EDITION・7」を新発売した。

同社のディズニーブランドは、おしゃれを楽しみたい大人向けのディズニーとして、2011年より展開している人気ブランド。従来のキャラクターそのものではなく、大人向けにデザインをアレンジしているのが特徴で、カーテン、クッション、ラグ、キッチンマット、トイレタリーなどさまざまなアイテムで展開している。キャラクターもミッキーやミニーの他、「くまのプーさん」を主人公にした「Winnie the Pooh」、不思議の国のアリスをピックアップした「ALICE in WONDERLAND」をラインナップするなど拡大している。

そして今回はさらに「PRINCESS」シリーズを追加、お洒落やトレンド、可愛いものに敏感なティーンへ向けたシリーズとしてピンク、ラベンダー、ライムグリーンなどのペールトーンや柔らかなレインボーカラーを中心に提案する。

この他の新柄については、メインの「Standard Collection」にはシンプルなインテリアに遊び心として華やかな空間に溶け込むエレガントなデザインを追加、「Winnie The Pooh」では、「くまのプーさん」をボタニカルデザインや繊細でエレガントなイラストで表現、「ALICE in WONDERLAND」では、物語のシーンを切り取ったデザインや柄にひそむキャラクターを探すデザインなどファンタジー溢れたデザインを提案した。

レインボーカラーを提案

外国人受け入れ制度

業界団体による新団体を共同設立へ
内装分野で日装連も参加

日本全体で人手不足が深刻化する中、昨年末に外国人労働者の受け入れ拡大のため出入国管理法が改正され、今年4月より新たな在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」が創設される。政府は今後5年間で最大34万人の外国人を受け入れる方針を示している。そのうち建設分野では最大4万人を見込んでいる。

それを受け、建設業界では新たな在留資格に対応する必要があるが、建設業界が一致団結して円滑かつ適正な受け入れを進めていくための仕組みとして、国土交通省は元請団体と受け入れ対象職種となる専門工事業団体で構成する新団体を設立する方針を示している。

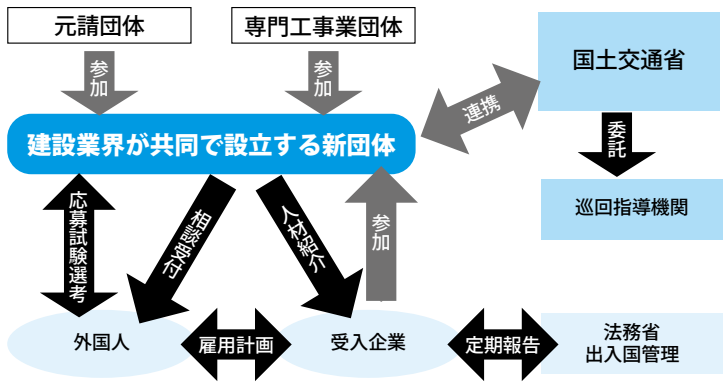
新団体では、多数の専門職種に分かれている業界団体間の調整、外国人材の応募や資格試験の実施・選考、受入企業への紹介、入国後の技能教育や社会共生教育の実施などさまざまなサポートなどを一体的に行う。また共同による団体運営を行うことで悪質なブローカーの排除にもつながる。

2019年度に受け入れ対象職種になるのは全11職種。その中に内装仕上業も含まれる。日装連は内装仕上業の代表として、新団体設立に参加する予定だ。

また今年4月にスタートする建設キャリアアップシステムも活用し、外国人労働者の適正賃金の確保、不法就労の防止に取り組む。

なお同制度については、次号で詳細を掲載する。

元請団体・専門工事業団体が共同設立する団体のイメージ



住宅用クッションフロア「Ponleum 2019-2020」新発売

シンコールインテリア

シンコールインテリアは、「楽しく選べる」をコンセプトにした住宅用クッションフロアの見本帳「Ponleum（ポンリューム）2019―2020」を、このほど新発売した。

同見本帳では、使いやすいデザインから個性的なパターンまで全230アイテムを収録、それらを「楽しく選べる」ように、インテリアスタイルから床を選べる「おすすめしたい9プラン」を巻頭企画として展開する。

また用途に応じた機能性を写真やイラストでわかりやすく紹介、全商品を確認できる「柄一覧」も付与しより選びやすくなった。

この他、壁紙見本帳「BIGACE」で展開している「ローラアシュレイ」「ジャーナルスタンダード ファニチャー」「アクメファニチャー」のデザインをクッションフロアでも展開、壁と床のコーディネートも楽しめるようになった。

「Ponleum」施工イメージ

「第6回窓装飾プランナー資格試験」実施概要を発表

9月4日に全国15会場で実施

NIF

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会・窓装飾プランナー委員会（友好雅也委員長）は、2019年度に実施する「第6回窓装飾プランナー資格試験」の概要を発表した。

試験日は9月4日（水）。試験会場は全15会場（札幌・盛岡・仙台・新潟・さいたま・東京・横浜・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄）と大幅に増加し、地方都市からも受験しやすくなる。

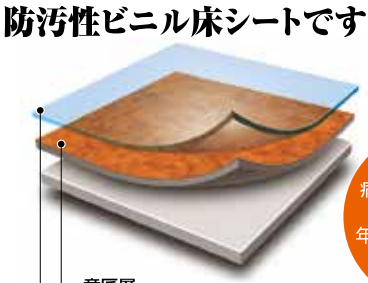
受験申込期間は5月27日（月）～6月30日（日）。願書と受験料納付に関する詳細は、今月発行予定の「第6回2019年度窓装飾プランナー受験申込ガイド」に掲載される。受験申込ガイドはNIF会員企業、窓装飾プランナー事務局等より入手できる。また公式テキスト「窓装飾プランナーBOOK・改訂版」はNIFホームページで販売中である。

■「第6回窓装飾プランナー資格試験」概要

▽受験申込受付＝5月27日（月）～6月30日（日）▽受験票発送＝7月末日予定▽試験日＝9月4日（水）▽合格発表＝10月11日（金）▽登録受付＝10月14日（月）～31日（木）▽受験料＝1万3000円（税込1万4040円）▽認定登録料＝7000円（税抜）

ノーワックスビニル床シート
ロンパレッテCT
直線と曲線を調和させた
優雅なフォルム。
豊富なカラーバリエーションの
防汚性ビニル床シートです。

●耐久性にすぐれた、均一なコーティング層
防汚コーティング層
均一なコーティング層により耐久性のバラつきを低減しています。
●すぐれた防汚性能
●日常メンテは水拭き。ラクラクノーワックス仕様


意匠層
・汚れにくく、メンテナンス性も向上
・すぐれた耐薬品性
・抗菌仕様で衛生的

メンテナンス費用の比較
病院（2,000㎡）を想定した場合 年間約100万円の費用削減。
100万円の削減
定期
日常
日常
防汚コーティング床シート
一般ビニル床シート

ロンシール工業株式会社 http://www.lonseal.co.jp/
本社建装事業部 〒130-0021 東京都墨田区緑4-20-7 アステ21ビル6F TEL.03-5600-1821

お客様の声をもとに、新たな需要を創造し、
より良いご提案、より良い商品をご提供します。

インテリアと住設・建材総合商社
リック株式会社

取扱商品
カーテン・ブラインドなど窓廻り関連、壁紙・フィルム化粧シート、床材・カーペット、家具・事務器、照明、副資材・金物、住設・建材、エクステリア その他

日装連会議録

常任理事会

組合員実態調査の活用等
来年度の事業内容を検討

12月14日13時半より日装連会議室において常任理事会を開催した。小坂田理事長の挨拶に続き、報告事項、審議事項が討議された。

まず報告事項として現時点までの各ラベル支給状況報告が行われ、全体として前年比僅かにマイナスではあるが予算通りに進捗しているとの報告が行われた。

次に11月20日に開催された日装連住宅リフォーム推進協議会の総会について、出席34社、委任状66社が集まり無事に開催されたことが報告された。

次に化粧フィルム工事作業について来年度の試験スケジュール予定の説明が行われた。また今年全国6会場で実施した講習会については、来年度は実施しないこと等が報告された。

次に来年1月頃を目途にメーカー5社会を開催し、商材調達、担当窓口などについて調整を行うことが報告された。最後に化粧フィルムテキストの進捗状況が説明され報告は終了した。

続いて国土交通省が取り組んでいる外国人労働者についての報告が行われ、委員会に参加している椎津副理事長より国土交通省の資料を基に説明が行われ、来年から特定技能1号での受入れを開始する職種として日装連、全室協、ジェイシフの3団体で管轄していくことが了承された。また今後の外国人労働者受け入れ等については、常任理事会で審議・検討していくことが決定した。

その他の報告として、防炎・施工管理委員会の宮本担当副理事長から防炎物品PRについて今後はより活発に行っていくことが報告された。情報・流通委員会の鈴木担当副理事長から次号で500号を迎える日装連新聞のクロスワードパズルの景品の了承を得た。最後に青年部・次世代委員会の椎津担当副理事長から12月21日に石川県で行う青年部フォーラムの引継ぎ会の説明が行われ、了承を得た。

休憩を挟み、審議事項について協議が行われた。

最初に来年度の日装連理事・全国組合理事長会について、配布資料を基に事務局から説明が行われ、これまでの実施状況を踏まえ、実施内容、費用面、ジャパンテックス等から、今後も継続していくかどうかの話し合いが行われた。この件については慎重に検討すべきだという意見が出たので再度、次回の常任理事会で検討することとなった。

次に組合員実態調査の各組合への報告方法と今後の検討についての説明が事務局より行われ、会議で配布された資料を組合へ（一部はメールでも）送付する案が了承された。但し、部外秘として組合外にでないよう紙媒体での配布資料についてはコピー防止の要望が事務局に行われた。また設問ごとの回答についての今後の対策については総務委員会で検討することが確認され、年明けに委員会を開催することが、関山担当副理事長に了承を得て、確定した（その後、2月13日に開催決定）。

【出席者】

小坂田達朗（大阪組合）、関山豊光（福岡組合）、久保田清（群馬組合）、宮本外次（石川組合）、鈴木英治（愛知組合）、椎津雅夫（東京組合）、金本幾夫（専務理事）、山﨑正通（顧問）

2019
謹賀新年

平成31年

公益財団法人 日本防炎協会
理事長 丸山浩司
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町四―一―五 共同ビル
電話（〇三）三二四六―一六六一
FAX（〇三）三二七一―一六九二

一般社団法人 日本インテリアファブリックス協会
会長 永嶋元博
〒105-0012 東京都港区芝大門二―一一―一七 朝川ビル二階
電話（〇三）三四三三―四五二一
FAX（〇三）三四三三―七八六〇

株式会社 岩崎貞三商店
代表取締役 岩﨑信一郎
〒590-0011 大阪府堺市堺区香ヶ丘町四―四―一
電話（〇七二）二二八―七一〇一
FAX（〇七二）二二八―七一〇八

ウォールボンド工業 株式会社
代表取締役社長 松下眞一郎
〒370-0603 群馬県邑楽郡邑楽町中野一三〇
電話（〇二七六）八八―二六八一
FAX（〇二七六）八八―二六八六

株式会社 川島織物セルコン
代表取締役社長 山口進
〒601-1192 京都府京都市左京区静市市原町二六五
電話（〇七五）七四一―四一一一
FAX（〇七五）七四一―四三〇八

株式会社 サンゲツ
代表取締役社長執行役員 安田正介
〒451-8575 愛知県名古屋市西区幅下一―四―一
電話（〇五二）五六四―三一一一
FAX（〇五二）五六四―三一九一

シンコール 株式会社
代表取締役社長 池田皖偉
〒158-0093 東京都世田谷区上野毛一―七―一一
電話（〇三）三七〇五―一二三四
FAX（〇三）三七〇五―五二三二

シンコールインテリア 株式会社
代表取締役 西村陽介
〒106-0031 東京都港区西麻布一―四―二六
電話（〇三）三四〇四―八一八四
FAX（〇三）三四〇四―三五八一

住江織物 株式会社
代表取締役会長兼社長 吉川一三
〒542-8504 大阪府大阪市中央区南船場三―一一―二〇
電話（〇六）六二五一―六八〇一
FAX（〇六）六二五一―七八七九

タキロンマテックス 株式会社
代表取締役社長 池中功
〒108-6015 東京都港区港南二―一五―一 品川インターシティA棟
電話（〇三）五七八一―八一五〇
FAX（〇三）五七八一―八一三〇

田島ルーフィング 株式会社
代表取締役社長 田島国雄
〒101-8575 東京都千代田区岩本町三―一一―一三
電話（〇三）五八二一―七七一一
FAX（〇三）六六三二―〇四五五

株式会社 美柳
代表取締役 鍵和田朋幸
〒164-0012 東京都中野区本町二―四八―五
電話（〇三）三三七二―七三三一
FAX（〇三）三三七三―八九三二

ヤヨイ化学販売 株式会社
代表取締役社長 二口真
〒174-0042 東京都板橋区東坂下一―一〇―七
電話（〇三）五九三九―八四一三
FAX（〇三）五九三九―八五六六

吉野石膏 株式会社
代表取締役社長 須藤永作
〒100-0005 東京都千代田区丸の内三―三―一 （新東京ビル）
電話（〇三）三二一六―〇九五一
FAX（〇三）三二一四―五〇九四

リック 株式会社
代表取締役社長 松本渉
〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町三―三―二
電話（〇六）六二四五―二三九一
FAX（〇六）六二四五―二四八九

リリカラ 株式会社
代表取締役社長 山田俊之
〒160-8315 東京都新宿区西新宿七―五―二〇
電話（〇三）三三六六―七八二五
FAX（〇三）三三六六―七八五三

ルノン 株式会社
代表取締役社長 種戸一嗣
〒141-0031 東京都品川区西五反田二―三〇―四
電話（〇三）三四九二―七三四一
FAX（〇三）三四九三―五八四三

ロンシール工業 株式会社
代表取締役社長 大村朗
〒130-0021 東京都墨田区緑四―二〇―七 アステ21 六階
電話（〇三）五六〇〇―一八二一
FAX（〇三）五六〇〇―一八九〇

株式会社 岩崎貞三商店
代表取締役 岩﨑信一郎
〒590-0011 大阪府堺市堺区香ヶ丘町四―四―一
電話（〇七二）二二八―七一〇一
FAX（〇七二）二二八―七一〇八

株式会社 龍村美術織物
代表取締役 龍村晏
〒604-8101 京都府京都市中京区 柳馬場通御池下る柳八幡町六五
電話（〇七五）二一一―五〇〇二
FAX（〇七五）二一一―五三〇五

立川ブラインド工業 株式会社
代表取締役社長 立川光威
〒108-8334 東京都港区三田三―一―一二
電話（〇三）五四八四―六一〇〇
FAX（〇三）五四八四―六二〇〇

東リ株式会社
代表取締役社長 永嶋元博
〒664-8610 兵庫県伊丹市東有岡五―一二五
電話（〇六）六四九二―一三三一
FAX（〇六）六四九一―四七〇〇

トキワ産業 株式会社
代表取締役 竹内晴彦
〒140-0002 東京都品川区東品川三―一八―一一
電話（〇三）三四七二―三〇〇一
FAX（〇三）三四七二―三九三〇

トーソー 株式会社
代表取締役社長 大槻保人
〒104-0033 東京都中央区新川一―四―九
電話（〇三）三五五二―一二一一
FAX（〇三）三五五二―一〇〇九

トーヨーポリマー 株式会社
代表取締役社長 二宮ひとみ
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原五―五―一七
電話（〇六）六三九七―八〇一五
FAX（〇六）六三九七―八三一五

株式会社 ニチベイ
代表取締役社長 福岡勇之輔
〒103-0027 東京都中央区日本橋三―一五―四
電話（〇三）三二七二―二五九二
FAX（〇三）三二七二―四二六六

北から南から

日装連単組レポート

Dec. 2018

12

北海道ブロック

北海道

17日　ホームページ更新No.167。

28日　仕事納め。

東北ブロック

青森

5日　平成31年新年情報交換会のセミナーについて打合せ。

岩手

3日　組合事務所に於いて、フルハーネス型安全帯使用作業特別教育について細野理事長、徳田副理事長とで打合せ。

25日　フルハーネス型安全帯使用作業特別教育の受講申込書を提出に、事務局が岩手県建災防へ。

26日　岩装協一人親方特別加入共済会1月加入者2名の手続きに、事務局が岩手労働局へ。

27日　岩装協一人親方特別加入共済会1月加入者1名の手続きに、事務局が岩手労働局へ。

宮城

18日　宮城インテリアニュース68号を組合員に送信。建設キャリアアップシステム説明会について。

20日　今後の「技能検定」組合講習について組合事務所にて打合せを実施。内容・技能検定実技練習、講習会運営について検討。検定担当役員、事務局が出席。

秋田

14日　三役会議を開催。『平成30年度職業訓練指導員講習』開催を組合員に連絡。組合の年末年始休暇案内を組合員に連絡。

山形

7日　第184回理事会を開催。野口理事長他計8名が出席。議題・事業並びに会計報告。東北ブロック会議について野口理事長から報告。防災ラベルの価格について。青年部（次世代）委員会について。

福島

3日　県北支部青年部部会兼忘年会開催。議題・研修旅行について。ものづくりマイスター推薦について。12名が出席。

5日　創立50周年記念事業打合せ。本田理事長、川上専務理事、鈴木監事が出席。内容・会場、設備見学。

7日　県北支部支部会兼忘年会開催。議題・記念誌協賛広告について。研修旅行について。支部新年会について。

関東ブロック

茨城

7日　31年4月の日装連関東ブロック例会の打ち合わせ。東京組合稚津理事長、小宮事務局長、茨城組合増渕理事相談役、事務局山口氏が出席。会議会場、懇親会会場、二次会会場他概要確認。希望者見学・つくば宇宙センター（JAXA）時間等打合せ。

19日　31年1月日装連関東ブロック会例会及び新年賀詞交換会、30年度通常総会及び4月例会打ち合わせ。冨山理事長、増渕理事相談役、白田副理事長が出席。

26日　茨城県中小企業団体中央会にて、31年度技能検定について打ち合わせ。事務局山口氏が出席。化粧フィルム工事作業、床プラスチック系床仕上げ技能検定について来年度も募集依頼。トライアルについても室内装飾組合での連絡先ということで記載確認。

栃木

4日　老舗旅館の立て直し奮闘談。㈱陣屋代表取締役女将宮崎知子氏講話。（主催：栃木県中小企業団体中央会）。坂本竹男事務局長が出席。

8日　栃装協青年部忘年会。8名他、上田孝治理事長が出席。

19日　栃木県中小企業者組織化講習会に坂本竹男事務局長が出席。

21日　栃木県中小企業中央会技術・資源フォーメーション。坂本竹男事務局長が出席。同日、懇親会開催。

群馬

11日　日装連より、中央技能検定委員会内装仕上げ施工（木質系床仕上げ工事作業）。青木理事長が出席。

14日　日装連常任理事会に久保田理事相談役が出席。

15日　群馬地域技能振興コーナーより、シンポジウム「ものづくりの魅力をさぐる」のご案内。出席者・理事に案内、3名参加。

19日　群装協12月度理事会を開催。青木理事長、治田副理事長、船津副理事長、橋本副理事長、高橋専務理事、小林理事、磯田理事、久保田雅幸理事、櫻井博理事、内田理事、権田理事、佐藤理事、都丸理事、緑埜理事、小澤理事、金田理事、山田理事の計17名、事務局が出席。議題・各委員会報告、確認事項。年始廻り、月度理事会、役員新年会確認の件。日装連関東ブロック会青年部、次世代委員会及び技能委員会対応の件。日技連理事会対応の件。群技連より、平成30年度ものづくり体感事業対応・確認の件。関係団体新年会等対応・確認の件。群装協新年懇親会2月8日及び日装連インテリアデコレーター研修対応の件。卓越した技能者表彰推薦の件。賛助会員㈱ホシケン展示会協力依頼と対応の件他。

同日　群馬県中小企業団体中央会群装協担当石井暁氏来所。組合顧問について。働き方改革について。就業規則等について。

21日　山本一太氏一伸会緊急総会に青木理事長が出席。

28日　仕事納め。

埼玉

11日　第7回理事会を開催。議案・平成30年度事業開催結果について。平成30年度事業計画について。青年部活動報告他。

12日　定例理事会開催。議題・組合員等加入・脱退承認の件。第154回防火壁装・防炎業務講習会開催に関する件。60周年事業について。平成31年度事業計画について。第153回防火防炎業務講習会収支報告。各委員会・研究会報告。日装連関連報告。その他報告。理事16名、監事2名、事務局2名が出席。

19日　広報委員会を開催。議題・新聞12月号の編集結果報告。新聞1月新春号の編集方針について。60周年記念リーフレット制作の件。新企画記事の件。委員4名、事務局2名が出席。

同日　環境研究会を開催。議題・次年度事業計画。委員4名、事務局2名が出席。

28日　東京室内装飾事業協同組合事務所仕事納め。

東京

4日　昭和電工川崎プラント見学会（環境研究会主催）。3名と事務局1名が参加。

同日　流通研究会開催。議題・情報交換及び今後の研究会活動について。委員7名、事務局1名が出席。

千葉

3日　総務委員会開催。業務提携について（業務用商業車斡旋）の業者説明。

18日　官公需適格について。千葉県中小企業団体より千葉県の入札、業者現状、組合事業などについて。

20日　2019年度中央会連携支援事業について。2019年度組合事業の連携事業について技能講習、組合員の経営課題を解決するために役立つ講習会の開催など。

26日　第50回千葉県職業能力開発促進大会。千葉県の卓越した技能者の表彰。千葉県技能士会連合会長表彰、叙勲、褒章受章者など。理事長、事務局が参加。

同日　ITS工房忘年会。理事1名、事務局が参加。

28日　仕事納め。

三多摩

28日　東京室内装飾事業協同組合事務所仕事納め。

神奈川

6日　三役会会議開催。内容・次回理事会上程議題の確認。渡邉理事長他5名が出席。

13日　第375回定例理事会兼受賞記念祝宴（3名）。報告事項・自由脱退希望者の件。平成30年度賦課金入金状況の件。上平期ラベル販売状況の件。年末年始の事務局業務日程の件。審議事項・常勤役員採用承認の件。渡邉理事長他14名が出席。

28日　神奈川県室内装飾事業協同組合事務局仕事納め。

北信越ブロック

新潟

5日　忘年会を開催。11名が参加。

18日　個別防火壁装講習会。2名が受講。講師・小菅氏。

富山

5日　富山支部・賛助会さんとの忘年会を開催。30名が参加。

6日　新川支部役員会を開催。

7日　随時3級カーテン工事技能検定（受検者2名）。検定委員・福崎氏。

13日　忠考会講演会に小倉理事長が参加。

21日　日装連次世代フォーラム反省会・打合せ（北信越ブロック）。金子理事、久郷監事が出席。

25日　基礎級カーテン工事技能検定（受検者3名）。検定委員。福崎氏。

28日　組合事務所仕事納め。

石川

14日　日装連常任理事会に宮本理事長が出席。

20日　第46回石川の技能まつり第3回実行委員会に西川副理事長が出席。

山梨

11日　役員会及び平成30年忘年会を開催。桜井理事長他6名が出席。

26日　山梨県室内装飾事業協同組合事務局打合せ。桜井理事長、事務局が出席。

福井

1日　福井・奥越・丹南・敦賀支部合同ボランティア事業。担当・奥越支部。大野市北部児童センター壁クロス張り替え。岡山理事長（福井地区）、友高理事（奥越支部長）、大井氏（奥越支部）、玉木氏（奥越支部）、村下氏（丹南支部長）、野田理事（丹南支部）、渡辺理事（丹南支部）、加賀谷事務局が参加。

同日　福井県青年友好4団体会議に西村理事・竹山氏が出席。

3日　繊協ビルテナント会議に小林事務局が出席。

21日　（仮）日装連青年部・次世代全国大会第1回準備会議、第3回フォーラム反省会。（仮）日装連青年部・次世代委員会全国大会引継ぎ及び開催地ブロック決定式典準備について。（仮）北信越ブロック青年部連絡協議会設立準備について他。宮副理事長、北村青年部次世代委員長、敷中青年部次世代委員が出席。

中部ブロック

岐阜

2日　日装連中部ブロック会に橋本理事長他3名が出席。内容・日装連報告・各単組近況報告他。

4日　中央会情報連絡員会議に谷岡専務理事が出席。内容・関係機関からの情報提供、情報連絡員による業況等の報告。

28日　仕事納め。

静岡

2～3日　中部ブロック会議に村上理事長、事務局縣氏が出席。

5日　ホームページリニューアル打ち合わせ。事務局縣氏が出席。

14日　ホームページリニューアル打ち合わせ。事務局縣氏が出席。

19日　ホームページリニューアル中止の打ち合わせ実施。事務局縣氏が出席。リニューアル予定を諸事情のため中止する旨の打ち合わせ。現状から若干の変更のみとし、大幅なリニューアルは中止することに決定。

20日　平成30年度組合収支見通しについて打ち合わせ。村上理事長、事務局縣氏が出席。

愛知

2～3日　中部ブロック会。内容・外国人労働者雇用、化粧フィルム工事作業技能検定等についての意見交換。出席者・5単組18名。当組合より鈴木理事長以下4名が出席。

4～5日　職長・安全衛生責任者教育。5年毎の受講奨励通達を受けて実施。22名が受講。

5日　内装士会第37次研修。場所・川島織物文化館。内容・織物文化の長い歴史と織物の先端技術の見学研修。17名が参加。

6日　愛装協技能士会総括会議。内容・愛装協技能士会の本年度事業の問題点提起と来年度事業

6日　福井県技能士連合会理事会に西村理事が出席。

10日　福井県職域防犯協会合同研修会に岡山理事長が出席。

17日　繊協ビル年忘れパーティーに岡山理事長、須賀原副理事長、加賀谷事務局が出席。

19日　西川一誠知事「福井市県政報告会」。岡山理事長、元山副理事長、浜本専務理事が出席。

同日　福井県建専連第4回理事会及び忘年会に岡山理事長が参加。

21日　日装連北信越ブロック青年部次世代委員会会議及び忘年会。岡山理事長、須賀原副理事長が出席。

26日　ふくい青年中央会×仁愛短期大学コラボバスツアーに西村理事が参加。

長野

4日　北信支部が忘年会を開催。

22日　次世代委員会が懇親会を開催。

への対策検討を実施、会議終了後に事業協力への慰労を兼ねて懇親会を開催。18名が参加。

13日　平成30年度前期技能検定合格証書交付。合格者・壁装1級6名、2級2名。プラスチック1級6名、2級4名。カーペット1級2名。化粧フィルム1級8名、2級1名の合計29名。

同日　日装連情報流通委員会に鈴木理事長が出席。

同日　愛知県中小企業団体中央会常勤役職員年末懇親会。藤井事務長以下3名が出席。

19日　愛知県中小企業共済協同組合理事会に鈴木理事長が出席。

同日　愛知県中小企業共済協同組合年末合同懇親会に、鈴木理事長が出席。

28日　仕事納め。

三河

7日　壁装講習会。1名が出席。

13日　日装連情報・流通委員会新聞編集会議に高柳理事長が出席。

三重

2～3日　中部ブロック会に中村理事長、小堀副理事長、川北監事、事務局が出席。

12日　第320回理事会を開催。理事5名、監事2名、事務局1名の計8名が出席。議題・今年度の事業計画について。中部ブロック会の報告。化粧フィルム技能検定の件他。

滋賀

3日　県中央会より、消費税軽減税率対策窓口等事業講習会の専門家による指導実施の認可が下りる。

4日　新年会及び改正消費税講習会開催の案内を組合員他各関係機関へ送付。

12日　県職能協会より、第30回技能グランプリの宿泊先の案内。滋賀県組合より壁装2名で出場する。

21日　県職能協会より、第30回技能グランプリの協議日程をホームページに掲載したとの連絡。関係者へ通達。

京都

12日　理事会を開催。

19日　ものづくり体験教室事前打ち合わせ（職業能力開発協会と技能士会）。

28日　京都室内装飾技能士会、SJC合同忘年会。

大阪

7日　12月度理事会を開催。大石理事長他14名が出席。組合ホームページのリニューアル・インテリアデコレーター研修会の件などを審議。

9日　OSK青年部会第1回ゴルフ大会を開催。青年部会有志14名が参加。

12日　青年部会例会。部会および忘年会開催。

同日　今年度の研修会・ボランティアの振返りと部会員による勉強会を実施。

兵庫

11日　理事会・忘年会を開催。

同日　和歌山組合主催近畿ブロック次世代委員会出席（青年部）。

18日　平成30年度神戸市産業功労者表彰式。経済団体功労者表彰・青木理事長、岩上副理事長、石田副理事長が受賞。従業員功労者表彰・㈱三栄商会佐伯女史が受賞。

20日　播磨支部忘年会開催。組合員・賛助会員26名が参加。

同日　インテリアひょうご新年号最終編集。

奈良

11日　第24回近畿ブロック次世代委員会開催。山口理事、松下理事が出席。

20日　次年度技能フェスティバル実行委員会に水田理事、軽本員外理事が出席。

26日　HP作成会議開催。池田理事長、松下理事、古川事務局、HP製作担当が出席。

和歌山

11日　第24回近畿ブロック次世代委員会に谷本氏、東端氏、松岡氏、池田氏、畑氏が出席。

13日　日装連流通委員会に浦口氏が出席。

15日　指導技法等講習（若年技能者人材育成支援等事業）に井戸良佑氏が出席。

18日　紀の国わかやまものづくりフェア会議に安中氏、東端氏が出席。

中国ブロック

しまね

11日　島根県中小企業団体中央会主催島根県内各組合長会議に三島理事長が出席。

21日　しまねインテリア事業協同組合役員忘年会開催。三島理事長以下新旧役員、事務局関係7名が参加。

岡山

10日　第256回理事会を開催。理事監事10名、事務局2名が出席。「建設キャリアアップシステム」について周知していく。

広島

3日　中国地方整備局幹部と中国建専連地方支部長との意見交換会に竹内理事長が出席。

8日、15日　JW－CAD講習会。13名が参加。

〈青年部会〉

1～2日　卸街まつり出展。2日間延べ28名が参加。

四国ブロック

徳島

11日　若年技能者人材育成支援等事業。織原理事長、大西顧問理事、田村理事が出席。

20日　防火壁装講習会・防炎業務講習会。2名が受講。

香川

5日　高松東支部会を開催。支部員14名が出席。

6日　香川県建設専門工事業安全大会。4名が参加。安全優良事業場表彰・㈱幸和。若年優良建設従事者表彰・篠原氏㈱山屋）。女性優良建設従事者表彰・入江氏（㈱山屋）。

同日　中讃支部会開催。支部員10名が出席。

12日　高松国税局による軽減税率制度説明会に事務局員が出席。

愛媛

4～6日　離職者訓練住宅・福祉リフォーム科における内装仕上げ指導を実施。講師・武智専務理事。

10日　広報委員会組合機関誌（IAえひめNo.89）第2回編集会議を開催。中村理事長、中村和夫編集長、青年部会中川代表幹事、西岡代表幹事、青年部会員他7名が出席。

同日　青年部会忘年会を開催。中川代表幹事、西岡代表幹事他9名が参加。（写真別掲）

18日　定例四役会を開催。議題・防火壁装標準施工資格講習会等について。結果・式次第について検討。久保理事長他3名が出席。

高知

九州ブロック

福岡

4日　表具組合壁装講習会に廣瀬副理事長が出席。

14日　日装連常任理事会に関山常任理事が出席。

28日　仕事納め。

佐賀

6日　第5回理事会を開催。

同日　役員忘年会を開催。

10日　賦課金口座振替請求（11月分再請求）。

11日　理事長・事務局長業務打合せ。

12日　口座振替結果データの取得。

28日　組合事務所御用納め。

29日　組合事務所年末年始休暇（1月6日まで）。

熊本

5日　建設専門工事業団体・九州地方整備局・熊本県管理課との意見交換会開催。中野理事長が出席。

8日　熊本県技能士会連合会技能フェアin上天草開催。内容・写真立て化粧フィルムデコレーション体験。壁紙ではし袋作り。組合より中野理事長、味喜氏、事務局が参加。（写真別掲）

22日　左官組合丹波氏黄綬褒章受賞祝賀会。丹波副理事長、高山専務理事が出席。

大分

1日　ホームページ更新作業。

3日　ホームページ更新作業。

11日　ホームページ更新作業。

28日　仕事納め。

宮崎

5日　中央会第1回業界・課題別検討部会開催。理事長以下7名が出席。

12日　宮崎県職業能力開発関係表彰、伝達式。【知事表彰】優良技能検定推進事業所・㈲生目内装。【宮崎県職業能力開発協会会長表彰】技能検定功労者・福永裕幸氏㈱インテリア永幸）。卓越した技能者・青山健吾（宮崎ユニット工業㈱）。

鹿児島

6日　総務委員会（組合新聞編集作業）開催。園田総務委員長、松田理事、田中理事が出席。

沖縄ブロック

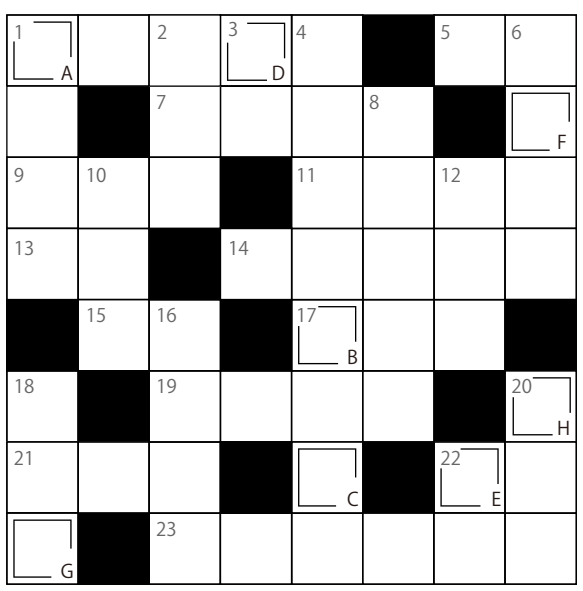
沖縄

6日　平成30年度沖縄ブロック会を開催。組合員11名、賛助会員4名が参加。議題・これからの内装業界技能職人育成と相互扶助について。

28日　沖装協事務局仕事納め。

熊本組合8日　技能フェア参加の様子

クロスワードパズルのコーナー



タテのカギ

1　家屋などの建物を新築・増築・改築または移転すること
2　内閣を組織すること
3　下⇕○○
4　動く物体を視界で認識する能力。プロスポーツ選手はこれが優れています
6　オーストリアの首都
8　12月の誕生石。トルコ石とも
10　口数が少ないこと
12　物事の基礎や基本となる事象、組織。
16　白黒の縞模様をもつ動物。実はウマよりロバの系統に近い
18　燃料用・食用・機械用などの油
20　縁が無いこと。ゆかり・関係が無いこと
22　冬はゆっくりと浸かりたいですね

ヨコのカギ

1　藻類の一種である珪藻の殻の化石よりなる堆積物（堆積岩）
5　ニューヨーク証券取引所に上場する国際的な優良銘柄30社で構成される、国際標準とも言える株価指数
7　その曲のメロディを変えずに、歌詞を変えて歌うこと
9　遠く⇕○○○
11　七面鳥
13　糸を出し、網をはります
14　絶対に確実だという保証。これを押されたらもう大丈夫です
15　髪を梳いたり、飾ったりする道具
17　試し飲み。日本酒の○○○
19　部屋の広さ、配置などをわかりやすく確認するための平面図
21　元素記号はS。温泉の泉質でも比較的多いとされています
22　「吹き鳴らすもの」を意味し、気流によって音を出す楽器
23　高級メロンの代名詞

クロスワードパズルを解いて、A～Hのワードを入れてください

答え：

A	B	C	D	E	F	G	H

日装連新聞500号を記念して、今回はご応募いただいた方から抽選で10名様に QUO カード3,000 円分をプレゼントいたします。

当選者は商品の発送をもって発表といたします。応募締切：2月12日（火）

ご応募方法：PC の場合　http://www.nissouren.jp/oubo/mail_form201901.htm

：スマホの場合　右の QR コードよりご応募ください

最前線探訪 30

三多摩組合

東京都下をカバーする三多摩組合。人口も仕事量も大きい大都市・東京という意味では組合活動も何ら不自由ないように思えるが、実は抱えている課題は地方都市とまったく同じである。その課題とは組合員の減少だ。昭和48年12月に44社でスタートした三多摩組合は、その後113社まで拡大したものの平成21年度から減少に転じ、平成29年度は82社にまで縮小してしまった。

ところが昨年になって組合員数は130社に急増、今では2020年までに200社という大きな目標を掲げるまでに劇的に変化している。

今号では平成26年度から理事長を務め、この組合改革を実行した関好文理事長にご登場いただき、改革内容や今後の方針などを伺った。

組合運営が成り立たない 強い危機感から改革を決意

三多摩組合の皆さん。中央が関理事長

「理事長のもっとも重要な責務とは、組合員を増やすことだと思っています。そのためには組合員になることにメリットを感じていただくしかありません。そのメリットとは何か、それに向けて何をすべきか、ということを常に考えて組合運営を続けています」と関理事長は語る。

とはいえ、理事長就任直後はさほど問題意識を持っていなかったという関理事長。しかし、組合の収益構造を確認したところ、組合員の賦課金、ラベル収入だけではとても運営できず、ラベル会員の存在で成り立っている状態であることが分かった。それにも関わらず組合員は減少し続けており、まさに存亡にかかわる事態に直面していた。

「組合というのは、組合員からの賦課金で成立させることが本来の姿です。組合運営を事務局に任せっきりにして前例踏襲を続けてきた結果、このような状態に陥ってしまったわけです。組合運営を安定させること、それが改革の発端でした」

最初の1期2年で問題点を徹底的に洗い出し、それに対する改革案をまとめた関理事長。そして3年目から具体的な活動方針として①事務局体制の強化、②財政基盤と組織の強化、③ビジネスプラザの展開という3つの重点課題を掲げ、組合改革を本格スタートした。

組合活動　地域イベントへの参加

理事の意識改革から開始 事務局体制も刷新

この組合改革に向けて関理事長が最初に取り組んだことが理事の意識改革だった。

これまで理事は、さまざまな組合活動にボランティアで協力することが暗黙の了解となっていた。それでは理事になること自体がデメリットになってしまう。特に最前線で仕事をしている中堅、若手の組合員にとっては、組合活動よりも仕事優先になるのは当然のことだ。そこで関理事長はボランティアという考え方を転換し、少額でも必ず手当を支給するようにした。すると徐々に組合への参加意欲が高まっていったという。

「理事というのは組合の中心ですから、彼らの意識が変わっていくことで組合全体の雰囲気も変わってきました」

また、理事の仲間意識が強まったことで、お互いの仕事を依頼し合うようなやり取りも自然と行われるようになった。

「組合に入ることの一番のメリットは仕事にプラスになることだと思っています。まさに理事の間でそのような関係ができてきました。それが理事と親しい組合員にも波及するなど組合全体に広がりつつあります」

こうした理事の意識改革と同時に進めたのが事務局の意識改革だ。

長年組合運営を実質的に担ってきた事務局は、持回り理事職の弊害で、例えば問合せやクレームが入っても理事に報告する仕組みがなく、事務局判断で対処するなど、過度の責任を持たざるを得ない状況に置かれていた。そうした各種手続きを、可能な限り担当理事経由で対処するようにした。さらに事務局長職については関理事長が兼任し、管理体制を一元化した。

このようにまずは組合の運営基盤を整えた上で、いよいよ平成29年度から具体的施策に進んでいったのである。

ラベル会員制度を段階的に廃止 「化粧フィルム」関連事業に注力

その一つがラベル会員制度の廃止だ。現在多くの組合でラベル会員制度をどうするのか議論となっているが、三多摩組合はいきなり廃止するのではなく、段階を踏んで実行していった。

まずラベル会員という制度自体はなくすが、「資格者購入」として組合員以外でも登録事業者であれば販売するという制度に移行した。ただし会費をなくす代わりに価格は350円／枚とかなり割高に設定した。

それと同時に、地域の消防署に組合員の事業者名、ラベル番号などを掲載した冊子を配布、また消防関係者に防火壁装講習会に参加してもらい、ラベルの意義と三多摩組合の運用について理解してもらうように努めた。

「単純にラベル会員をなくすだけでは、他から購入されるだけです。三多摩組合が発行するラベルだから価値がある、という状況にならないといけません。そのための消防関係とのコミュニケーションです」

その結果、収益を減らさずラベル会員制度を廃止でき、さらに大量購入する事業者約40社が組合に加入した。そして今年度からは「資格者購入」も廃止、組合員のみにラベル発行する形に完全移行した。この組合員の自然増の仕組みによってさらに組合員は増加した。

もう一つの具体的施策が、技能検定「化粧フィルム工事作業」への積極的な取り組みだ。昨年7月号でも紹介した常設の研修施設「ワークステーション三多摩」を開設、東京都職業能力開発協会における、化粧フィルム工事作業技能検定実技試験の実施団体にもなった。

「化粧フィルムは、組合員にとって新しい事業領域であり、実際の仕事面でもメリットが大きいと考えています。組合としてのテーマはたくさんあるのですが、可能性の大きい化粧フィルムに特に注力しています」

またこの一連の取り組みが地域に与えたインパクトは大きく、今年度からは化粧フィルム専門業者の組合加入も増加しているとのことだ。

こうして大きな成果を得た関理事長であるが、現在はさらなる施策の実行に向けて準備中だ。

「今後は地域における三多摩組合のブランド化を進めていきます。重点課題に掲げているビジネスプラザ展開は、そのための具体策となります」

ビジネスプラザ展開とは、各地区に拠点を設けて、各種研修をはじめ、一般ユーザー向けのリフォーム相談やワークショップなど地域に根ざしたさまざまな活動を行っていくというもの。それによってリフォーム需要など具体的な需要喚起を行い、組合員に仕事として還元していく考えだ。

「ワークステーション三多摩」もその考え方に沿う形に、より良い立地に移転を計画しているそうだ。

この他にも、商業施設士資格を持つ団体と連携し共同で商業施設工事の受注を目指す取り組みや、保険付きラベルを創設しさらなるラベル価値向上を目指す計画など、前例踏襲ではない新しい施策を次々と打ち出す関理事長。今後も組合員、そして地域に必要とされる組合を目指すとのことだ。

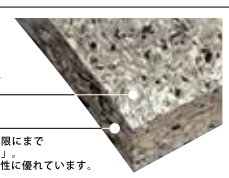
技能検定「化粧フィルム工事作業」の実技試験会場

優れたメンテナンス性で
美観を維持

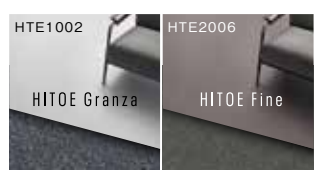
2018-2020
S FLOOR

永久ワックスフリーシート
ワックスフリーコーティングシート

sangetsu
Joy of Design
株式会社サンゲツ　www.sangetsu.co.jp



ヒトエは独自構造により、メンテナンス性、耐摩耗性に優れ、抗菌性も有しています。耐久性や衛生面が重視される医療空間や教育施設に最適です。



単層ビニル床シート
ヒトエ グランザ
ヒトエ ファイン
全層抗菌仕様
全層模様層
無方向チップ柄
NO WAX

東リ株式会社
http://www.toli.co.jp